

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆基礎年金、65歳まで保険料納付の影響試算へ 厚労省

・厚生労働省は年金制度を点検する今年の財政検証で、国民全体が加入する基礎年金(国民年金)で保険料の納付期間を40年から45年に延ばした時の影響を試算する。基礎年金は老後生活を支えるには給付が足りない側面があり、納付期間の延長でどこまで増えるかを検証する。

◆国交省24年度予算配分7.5兆円 国民の安全・安心確保など

・国土交通省は2024年度国土交通省関係予算を発表。配分対象総額は、前年度とほぼ同額の7兆5743億9700万円。「国民の安全・安心の確保」「持続的な経済成長の実現」「個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」の3本柱を掲げる。厚労省から移管された水道行政に関する項目では、従来の区分「水道」「下水道」に「上下水道」を加え、57億7700万円を配分。

◆介護のデイサービス、共同送迎を解禁 運転手不足で

・厚生労働省は4月から、デイサービスなどの通所系介護施設で高齢者を共同で送迎できるようにした。他の施設の利用者も送り迎えできるようにして人手不足に対処する。高齢者が施設に通い、入浴や食事の介護などを受けるデイサービスや通所リハビリテーション施設などが対象となる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆粗鋼生産、24年4～6月期2.2%減 経産省見通し

・経済産業省は11日、2024年4～6月期の国内粗鋼生産量が前年同期比2.2%減の2172万トンになる見通しだと発表。前年同期比でのマイナスは三四半期ぶりとなる。自動車を除く製造業向けや建設向けの鋼材需要が低調に推移。中国の景気低迷も影響する。4～6月期の鋼材需要は1895万トンと前年同期比5.4%減となる見通し。

◆コジマの9～2月、最終2%増益 家電の上位モデル好調

・コジマが11日発表した2023年9月～24年2月期の単独決算は、税引き利益が前年同期比2%増の16億円だった。白物家電を中心に利益率の高い上位モデルが好調。自社の電子商取引(EC)サイトでの販売も伸びた。売上高は6%減の1293億円。新型コロナウイルス禍の巣ごもり需要の反動が出た。暖冬の影響でエアコン販売も苦戦した。

◆パナソニックエナジー、研究開発棟を新設 電池技術磨く

・国土交通省は4月22日に開催する「リフォーム減税制度WEB説明会」の参加者を17日まで募集。リフォーム減税制度は、リフォームをした人の所得税が一部控除される、あるいはリフォームを行った住宅の固定資産税が減額される制度。2024年度の税制改正により内容が変更され、期限延長・拡充などが行われた。

《 注目商品 》

■積水化学、5月21日出荷分より塩化ビニル管・建築設備配管製品を値上げ

・諸原料、仕入部品、副資材の値上げ、エネルギーコストの高騰、併せて、人材確保に向けた賃上げ、物流コストの増加により製造原価が著しく上昇にて販売価格の改定を行うと発表。塩化ビニル管全般 15%以上、塩ビ継手、塩ビマス、および関連製品 8%以上、建築設備用ポリエチレン管、継手、および関連製品 10%以上など。

■タカラスタンダード×ヤノベケンジ氏、ホーロー素材のアートミラー

・現代美術作家・ヤノベケンジ氏とコラボレーションした鏡「SHIP'S CAT (Mirror) (シッパス・キャット・ミラー)」を1000個限定で発売する。GINZA SIXのポップアップストア「BIG CAT BANG」LIMITED SHOPでは、4月5日から14日まで先行販売。



■LIXIL、竹・靱殻の炭など配合した窯業系新素材

・セメントとパルプをベースに、竹・靱殻の炭、鉱石など自然由来の素材を使った窯業系の新素材「textone(テクストーン)」を開発。素材そのものの風合いを表現するため、LIXILの技術者とデザイナーが構想段階から協議を重ね、自然素材の素朴な風合いとマットな質感を実現。

